

令和５年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		11
部	子ども健康部	課	子育て支援課	

1. 指定概要

施設概要	名称	岡山第3こどもの家			建設年	平成23年				
	所在地	近江八幡市加茂町1524番地2			利用対象	地域				
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。								
	規模	敷地面積1,784㎡、延べ床面積111㎡、階数 地上1階								
	指定管理開始年度	平成23年								
指定管理者	名称	NPO法人はちまんキッズ								
	所在地	近江八幡市金剛寺町811								
指定管理業務の内容		①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務								
指定期間		令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）								
指定管理料		令和3年度：千円		令和4年度：千円		令和5年度：千円		令和6年度：千円（見込）		
利用料金制		採用している			選定方式		公募		応募者数	1者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和5年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、支援員が随時実施	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(施設の運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、保護者役員会の開催、送迎時の意見交換による。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和5年度 3,690千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長保育は19時まで実施している。	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(提案内容の実施業務) その他の業務 自主事業	なし		(よかったと評価できる事項)
				(改善を要した事項と対応)
				(課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	・開設日数：260日 ・延べ利用者数：5,262名 ・平均登録児童数：30名	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和5年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> 岡山第3 ■収入 (13,765千円) 保育料等 3,944千円 補助金 9,821千円 ■支出 (13,695千円) 人件費 10,936千円 管理運営費 2,759千円	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> 岡山第3 ■収入 (14,520千円) 保育料等 3,690千円 補助金 10,830千円 ■支出 (14,520千円) 人件費 12,356千円 管理運営費 2,164千円	(よかったと評価できる事項) 市補助金支給要綱に基づき適正に運営された。
			(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	今年度は5回保護者会を実施した。保護者会では、日頃の子どもの様子や保育内容を伝えた。個々の相談事は、保護者のお迎えの時や電話にて対応した。
評価頂いている内容	日々感染対策をしながら子どもの為に工夫してくれていると感謝して頂けた。家ではできない遊びや工作をさせてもらえて楽しく通えた。子どもを第一に考えていただけた、など利用者の声があった。
苦情・意見等	季節により、学校の出入口から学童の出入口までが暗い。第三水基への学校からの下校時に横断歩道がない道路を横断するのが危ないので、安全対策をしてほしいなどの声があった。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

学童保育所と地域・学校・こども園等とが地域の子どもたちを見守る場所として、防犯防災体制や連絡体制を含めた協力・連携を図るために、年に1～2回ではなく定期的に意見交換等できる機会を設けてほしい。
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

感染対策として、自動消毒器、非接触型ハンドソープなどの設置、アルコール消毒の徹底を行い予防に努める事ができた。 保護者との日常的な会話を積極的に行い、信頼関係に努め、子どもや家庭の悩みや困っていることの相談・対応ができた。 学習会や講習会に参加することで保育に必要なスキルアップができた。保育日誌を基にミーティングを行い情報共有し子ども達の姿を捉えることができた。 今後も地域の協力を得ながら子ども達が安全・安心に過ごせる場所を作って行きたい。

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。また、地域とのつながりを大切にした活動を取り入れる等の工夫や姿勢などが評価できる。引き続き、学校や地域と連携した運営体制を築いていただきたい。 一方で、施設までの来所経路の安全の確保し、利用者に理解を得られるように努めていただきたい。
--